

先物取引のTdex+移行に伴う制度上の変更点



株式会社 東京証券取引所 派生商品部

2011年10月

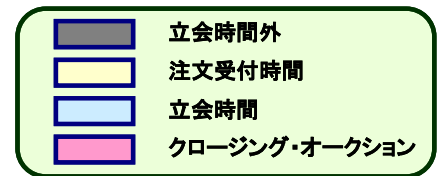
東証では、**2011年11月21日**に先物取引をTdex+システムに移行する予定です
新システムへの移行後は、機能や制度面での新たな改善が期待されます

- ・ グローバル水準のパフォーマンスを実現（低レイテンシー- 10ミリ秒以下）
- ・ 取引時間の拡大
- ・ 誤発注防止機能（呼値可能値幅）の導入
- ・ 市場流動性の向上（マーケットメイク制度の導入）

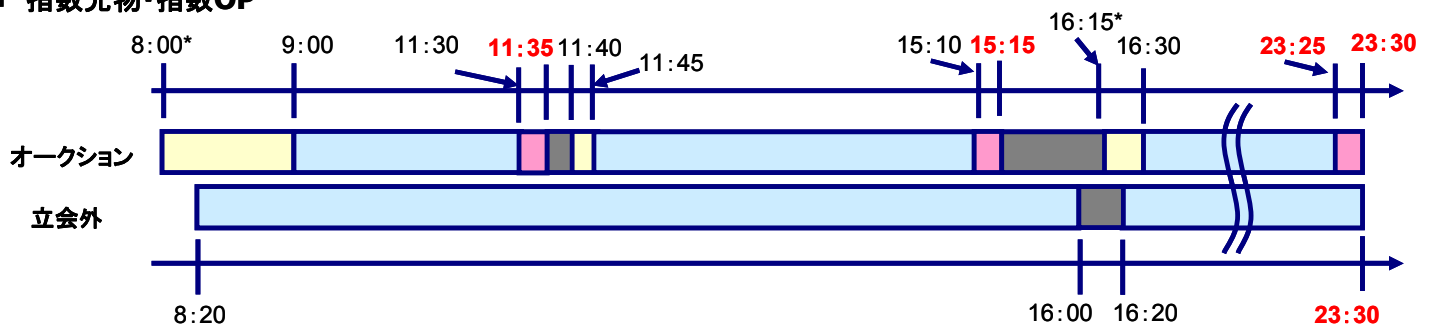
新システムへの移行に伴う制度上の主な変更点は、以下のとおりです。

1. 取引時間の拡大

- エクイティ系の先物・オプション取引の**昼休みを短縮**します。
- 先物・オプション取引における**イブニング・セッションの取引時間を23時30分まで延長**します。
- 引けの板寄せを行うためのセッション（**クロージング・オークション**）を導入します。**※先物取引のみ**

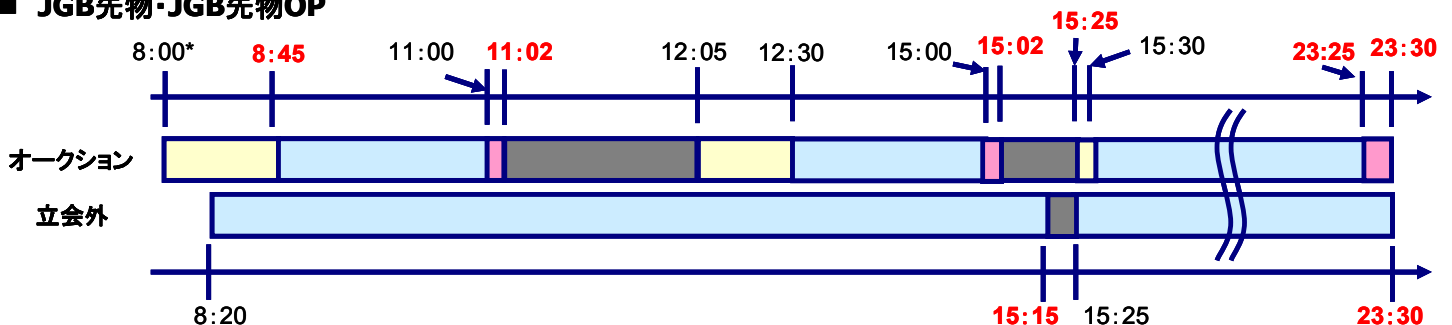


■ 指数先物・指数OP



(*)指数OPの前場注文受付開始は8:40、イブニングセッションの注文受付開始は16:20

■ JGB先物・JGB先物OP



(*)JGB先物OPの前場注文受付開始は8:30

■ 各ステータスの機能概要

	注文受付時間	立会時間	クロージング・オークション
注文登録	△(※1)	○	△(※1)
約定処理	×	○	△(※2)

※1 成行注文、条件付注文(IC、CV、MV)は発注できません。

※2 ステータス終了時のみ引けの板寄せを行います。ただし、ストラテジー取引は引けの板寄せは行いません。

先物取引のTdex+移行に伴う制度上の変更点



株式会社 東京証券取引所 派生商品部

2011年10月

2. 誤発注防止機能 (呼値可能値幅)の導入

■ 誤発注防止機能(呼値可能値幅)の目的

現行の特別気配制度を廃止し、呼値可能値幅制度を導入します。

本制度は、直近の約定値段等から大幅に乖離する水準に発注された注文を受付けないことで、急激な価格変動や、誤注文が即時に約定することを未然に防止します。

- 呼値可能値幅の上限値段よりも高い値段を指定した買注文は受け付けません。
- 呼値可能値幅の下限値段よりも低い値段を指定した売注文は受け付けません。

※ 成行注文は、直近の呼値可能値幅の範囲を超えて約定することはできません。

(未執行部分は自動的に取消されます。)

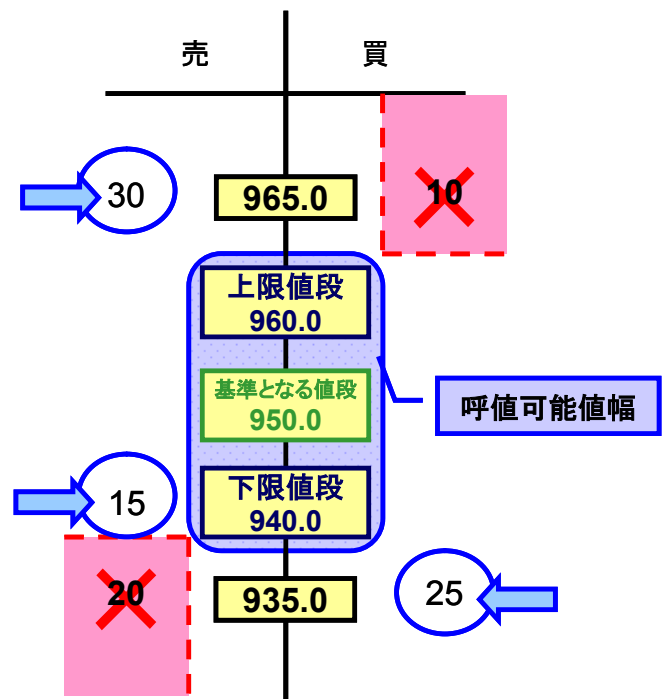
※ 一度受付られた注文は、価格変動等により値幅外となった場合も取消されることはありません。

■ 呼値可能値幅のイメージ

呼値可能値幅の下限値段(=940pts)よりも低い売注文(=935pts)は受け付けられません。

呼値可能値幅の上限値段(=960pts)よりも高い買注文(=965pts)は受け付けられません。

ただし、呼値可能値幅の下限値段よりも低い買注文及び上限値段よりも高い売注文は受け付けられます。



■ 呼値可能値幅の設定値

ステータス別に次の値を設定します。

	JGB先物	株価指数先物
注文受付時間	1.0円	75pts (※)
立会時間	0.2円 (20銭)	10pts (※)
クロージング・オークション	0.2円 (20銭)	10pts (※)

※ 価格水準により変化します。例示は価格水準が750pt~1,000ptの場合を想定したものです。

先物取引のTdex+移行に伴う制度上の変更点



株式会社 東京証券取引所 派生商品部

2011年10月

3. 新たな注文条件の導入

■ 新たな注文条件の種類

次に掲げる条件を注文に付加することができます。

注文条件	概要
Immediate Or Cancel (Fill And Kill)	<ul style="list-style-type: none"> 即時約定できる数量が約定した後、未執行数量を失効させる条件です。 板に注文が残ることはありません。
Complete Volume (Fill Or Kill)	<ul style="list-style-type: none"> 全数量が即時約定しない場合は、受け付けられません。 板に注文が残ることはありません。
Minimum Volume	<ul style="list-style-type: none"> 指定した最低数量以上が即時約定しない場合は、受け付けられません。 最低数量以上が即時約定された場合、未執行数量は板に残ります。
Good Till Cancel (GTC)	<ul style="list-style-type: none"> 注文が約定(取消)または満期を迎えるまで有効とする条件です。 指定日付の前後場から翌取引日のイブニングセッションまで有効となりますのでご注意ください。 GTC条件が付されていない場合は、後場(イブニング)終了後に自動的に注文が取り消されますのでご注意ください。

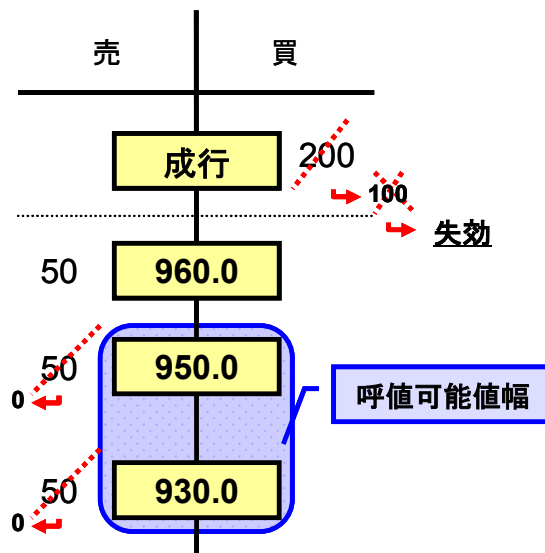
■ 成行注文に関する留意点

	内容
成行注文に関する留意点	<ul style="list-style-type: none"> 反対側に注文がない場合、もしくは呼値可能値幅の上限(下限)まで買い上がり(売り下がり)した場合には、未執行注文は自動的に取り消されます。 寄付き前及び引け前に成行注文を発注することはできません。

➤ 買成行注文を200単位発注した場合

反対側の呼値可能値幅の範囲内にある売注文(930pts 50単位、950pts 50単位)と即時に100単位約定します。

ただし、呼値可能値幅の範囲外である売注文(960pts 50単位)とは約定せず、**未執行数量100単位は失効します。**



先物取引のTdex+移行に伴う制度上の変更点



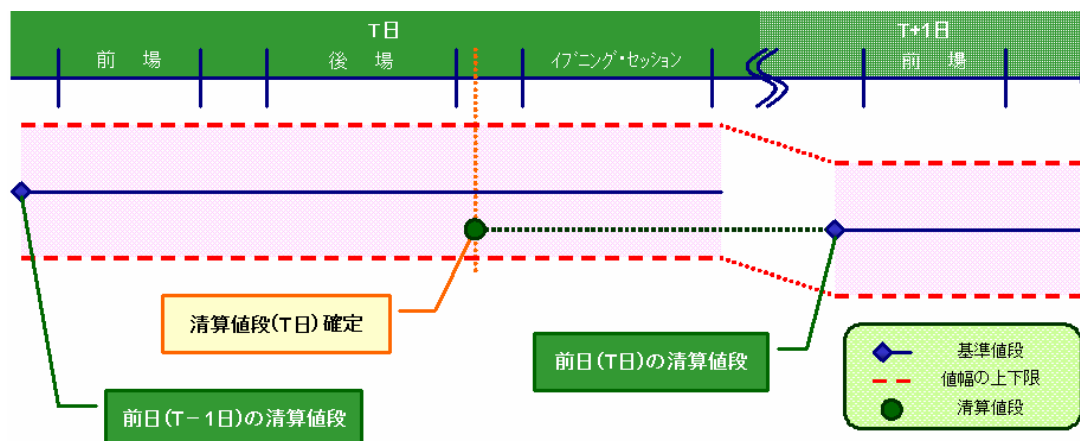
株式会社 東京証券取引所 派生商品部

2011年10月

4. 制限値幅 / サーキットブレーカー

■ 制限値幅の基準値段に関する更新タイミング

前場からイブニングまで同一値段を適用し、翌日の前場開始時に前日清算値段に更新します。



■ サーキットブレーカー

中心限月取引において、発動基準に該当した場合は、中心限月だけでなく他の取引限月を含むすべての限月取引において、速やかに取引を一時中断します。

■ 制限値幅の設定値

サーキットブレーカーの発動基準に該当した場合には、段階的に制限値幅を拡大します。

	JGB先物	株価指数先物
第一次値幅	1円	75pts (※)
第二次値幅	2円	110pts (※)
最大値幅	3円	150pts (※)

※ 価格水準により変化します。例示は価格水準が750pt～1,000ptの場合を想定したものです。

※ 配当指数先物には、制限値幅は適用されません。

【本件に関する照会先】

(株)東京証券取引所 派生商品部 総務企画グループ

Tel:03-3665-1385 FAX:03-3661-9113 e-mail: tdex-biz@tse.or.jp

免責事項:

本資料は、先物・オプション取引に関する制度の概要・市場状況等の説明のみを目的としたもので、先物・オプション取引の勧誘を目的としているものではありません。なお、先物・オプション取引においては、各商品の価格の変動等により損失が生ずるおそれがあります。先物・オプション取引の利用においては、取引金額が顧客の差し入れる証拠金の額に比べて大きいため、差し入れた証拠金以上の損失が生ずるおそれがあります。相場の変動等により証拠金額に不足が生じた場合には追加差し入れが必要となります。

先物・オプション取引を行うに際しては、あらかじめ取引先の金融商品取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、手数料及びリスクの存在等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で行っていただきますようお願い申し上げます。

本資料に掲載されている情報は平成23年10月現在に想定されている先物・オプション取引に関する制度改正の概要であり、今後、制度の改定等を行うことがあります。本資料の内容の正確性については万全を期しておりますが、情報の完全性を保証するものではありません。また、本資料の全部又は一部を当取引所に無断で転用、複製又は転載することを禁じます。